

ふくい越前の小さな粉屋から、 たくさんの方の大きな喜びを。

増田そば製粉所があるのは、福井県越前市。昭和天皇のお墨付きである「越前そば」発祥の地といわれる街です。この市街地から少し離れた田園風景の中、家族で小さな製粉所を営んでいます。

もともとの家業は建設業でした。ものづくりの好きな現社長が、地元産業に興味を持って作り上げた、2台の石臼製粉機がそば粉づくりの始まりです。当初は建設業の傍ら、地元農家から玄そばを譲り受けて製粉。知人そば店などに販売すると、徐々に評判が広がりました。その後、製粉業一本に専念。建設業の経験を活かし、自社製作で15台の石臼製粉機を完成させました。地元越前市(旧今立町)にてそばの栽培管理も始め、製粉所に加えて乾燥・調整施設を開設。栽培から製粉まで全工程において試行錯誤を重ね、現状に満足せず品質を高めていきました。

今でも、初めてお客様から喜びの声をいただいた時の、体験したことのない大きな感動は忘れません。現在では、全国各地のお客様からの声に励まされています。初心を忘れず、心を込めてそば粉づくりを行ってまいります。



【越前そばの由来】昭和22年、昭和天皇が福井に来られた際、2杯のおろしそばを召し上げられました。その後皇居に戻られてから、おろしそばを懐かしがられ、「越前のそばは大変おいしかった」と仰ったそうです。そこから「越前そば」の名が付いたといわれます。

